

## 使用上の注意

品番	下地厚(mm)	最大引張強度N(kgf) t=mm	参考ドリル径
ATS-45 鋼製下地用	鉄最大13.0	6.0t- 12,258(1,250)	φ5.3~φ5.4
ATS-30 鋼製下地用	鉄1.6~3.2	1.6t- 4,600 (469) 2.3t- 11,600(1,183) 3.2t- 13,000(1,326)	φ5.0~φ5.1
ATW-75 木材用	木60以上	埋め込み深さ:60mm	/
ATW-110 木材用		7,845(800)	
ATC-40 コンクリート用	コンクリート60以上	埋め込み深さ:37mm 下穴径φ5.5 圧縮強度33.4N/mm <sup>2</sup> 8,826(900)	/
ATA-90 ALCパネル用	ALCパネル(ALC板) 100	埋め込み深さ:87mm 圧縮強度3.92N/mm <sup>2</sup> 3,923(400)	/
ATA-120 ALCパネル用	ALCパネル(ALC板) 150	埋め込み深さ:117mm 圧縮強度3.92N/mm <sup>2</sup> 4,805(490)	/
ATE-45 ECP用	ECP(押出成形セメント板) 50以上	中空部厚12mm 7,548(770) 中空部厚14mm 8,880(905) 中空部厚15mm 9,324(951)	/

\*下穴加工用別売専用ドリルで中空部に必ず下穴を開けて下さい。

**推力** 鉄製下地の場合: 20Kgf~25Kgf ALCパネル(ALC板)の場合: 5Kgf~10Kgf  
木材、コンクリート、ECP(押出成形セメント板)の場合: 10Kgf~20Kgf  
但し、工具に過大な推力を加えると、回転にブレーキを掛け穴明け・ネジ立ての効率低下を招きます。

**推奨回転数**: 毎分1,300~1,700 ALCパネル用毎分500以下 ECP用毎分350前後

**推奨工具** (回転専用のスクリュードライバーです。下記は2020.03現在を基にしています。)

コードレスドライバドリル HiKOKI(旧日立工機) DS18DBL2 18V 0~1,800回転	充電式ドライバドリル マキタ DF484D 18V 0~2,000回転	テクス用ドライバ HiKOKI(旧日立工機) W8V 100V 700~1,700回転
---	---	---

- ①(社)仮設工業会編の足場工事マニュアルに準じて、十分な安全率を考慮して下さい。
- ①許容荷重=最大引張強度÷安全率(法令の定め・施工現場の環境を考慮し安全率は2.0以上を目安にして下さい)
- ①引張強度≠圧縮強度ですが、極力曲げ方向の荷重負担のない状態で壁つなぎの接続をして下さい。
- ①推奨工具は回転専用スクリュードライバーです、14.4V以上の機種で毎分1,300~1,700回転で、ALCパネル用はクラッチ付き毎分500回転以下で、ECP用は毎分350回転前後で締結して下さい。
- ①推奨工具以外のインパクトレンチ・インパクトドライバーでは、適正な穴加工・ネジ加工が行えず強度の保証は致しかねます。
- ①専用ビット及び推奨工具以外の使用では、ネジ頭のリセス及びビットの破損を招き施工トラブルが生じます。
- ①鉄下地が厚い場合でネジ加工がスムーズに行えない場合は、回転を下げてトルク調整をして締結して下さい。
- ①付属の専用ネジは二本均等に締め付けて下さい。締め過ぎると、著しく引張強度は低下またはトラブルの原因となります。
- ①劣化したALCパネル(ALC板)または締め過ぎの場合は強度低下または使用出来ない場合があります。
- ①推奨工具を使用せず下穴を別工具で穴あけ加工しての締結では、記載の最大引張強度は得られません。
- ①鉄下地に下穴を開ける場合は、参考ドリル径を基に回転専用工具を必ず使用して下さい。
- ①木質、部位、樹齢、水分含有率、ねじ込み深さにより強度が異なりますので配慮して使用して下さい。
- ①壁つなぎの雄ネジ部に傷や錆び等のままで、接続しないで下さい。

イファス株式会社/株式会社シグテックファスナー

詳しい情報はこちらから <http://www.iifas.jp> Email:sales@iifas.jp